

「学校を核とした県内 1000 か所ミニ集会」実践例

学校名	県立幕張総合高等学校 千葉県美浜区若葉 3-1-6 電話 043-211-6311
テーマ	地域とともに歩む学校づくり ～10年後の幕張総合高校を見据えて、総合学科としての今～
実施形態 実施主体	全体会、分科会、授業参観、開かれた学校づくり委員会 学校と「開かれた学校づくり委員会」が主体となり実施
日時 会場	令和元年11月7日(木) 13:15～16:00 県立幕張総合高等学校 生涯学習室
日程 流れ・進行	1 授業参観 13:15～14:00 2 学校概要説明 14:20～ 3 グループ討議(5グループ) 15:25～ 4 まとめ 15:50～
参加者	教職員 10名 保護者 6名 地域住民 21名 合計 37名
広報	・広報紙(PTA 広報)
内容	・授業参観 ・放送委員会作成の学校紹介 VTR 等による学校概要説明 ・地域連携、防災等をテーマにしたグループ討議(5グループ)
参加者の意見	・これからも地域の活動に参加してほしい。 ・学校周辺には、沢山の企業がある。ぜひ、企業と連携し、より多くのインターンシップの機会を作っていただきたい。 ・小・中学校との交流では、教育関係に進路を考えている生徒のために、部活動以外での交流機会を作してほしい。 ・秋の災害を受けて、地域住民の防災に対する関心が高まっている。今後、避難所や防災備蓄などの地域と連携した防災体制づくりを進めてほしい。
その他 (テーマの背景、	・授業参観があることで、生徒の様子がより分かり、学校や生徒の状況を踏まえた活発な話し合いにつながっていた。

学校の工夫、今後の取組等)	<ul style="list-style-type: none">・学校関係者から学校の取組や課題等の詳しい説明があり、話し合う視点が明確になっていた。・学校紹介では、生徒が制作の VTR を活用し、参加者が学校や生徒をより身近に感じるための工夫をしていた。・分科会では、付箋紙や模造紙を活用して参加者の意見や要望を可視化し、テーマに沿った多くの意見を引き出す工夫をしていた。・地域との連携体制を構築するため、ミニ集会の取組が次年度以降を踏まえて計画的に取り組まれていた。
----------------------	---

「学校を核とした県内 1000 か所ミニ集会」実践例

学校名	県立八千代西高等学校 八千代市吉橋2405-1 電話047-450-2451
テーマ	地域とともに歩む学校づくりを目指して
実施形態 実施主体	全体会、協議、授業公開、開かれた学校づくり委員会 学校と「開かれた学校づくり委員会」が主体となり実施
日時 会場	令和元年10月11日(金) 13:25~16:30 県立八千代西高等学校 会議室
日程 流れ・進行	1 公開授業(5・6時間目) 13:25~15:15 2 ミニ集会 15:30~16:30 (1) 校長挨拶 (2) 学校の教育活動の説明 (3) 協議
参加者	教職員12名(自校5名 他校7名) その他1名 保護者1名 地域住民13名 合計 27名
広報	・通知文 ・学校のHP ・その他(学校便り)
内容	・公開授業(5・6時間目) ・学校の教育活動の説明(教頭) ○地域学校協働本部としての地域交流活動 ・読書交流会など学習活動を通じた地域交流 ・防災教育・環境学習を通じた地域交流 ○今後の特色ある学校づくりへの取組 ・地域を支える人材育成(災害ボランティア・企業派遣) ・安全・安心な街づくりの貢献 ○学校運営協議会(コミュニティ・スクール)について ・協議(教頭進行50分 ※全員に指名)
参加者の意見	・子供達が落ち着いて学習に取り組んでいた。特に1年生は学級を2

	<p>つに分けた少人数授業とすることによりグループ内での協働学習が活発に行われていて驚いた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明るく人懐っこい子が多い。朝、先生方が立って登校指導しているおかげである。登校の様子も一昔前とは違って、横に広がることなくきちんと歩いている。 ・駅前清掃、地域防災訓練、緑小コンサート、小中での読書交流会など様々な地域連携活動が見られ、「地域と学校がともに支え合う」関係となっている。 ・先生方が意図的、計画的に生徒を地域に送り、活躍の場を作っていることが素晴らしく、生徒の自信につながっている。 ・夏休みには、小学校で西高の生徒の協力を得て勉強会を開いた。小学生は、年の近い高校生のお兄さんお姉さんに教えてもらうことで、いつもの学習とは違い、意欲的に学習でき、学習習慣の確立につながった。また、高校生にとっては、ボランティア証明証書ももらい、励みとなり、WIN-WINのよい活動になった。 ・社会福祉協議会では、地元高校生と一緒に地域を盛り上げていくことをやっている。高校生にアンケートを取り、結果を基にどんな街にしていきたいか高校生と市長との対話も行った。八千代まつりを高校生と一緒に盛り上げることができた。 ・地域で小学生対象のサッカースクールを立ち上げ5年目となる。地域や西高のために協力できる事があれば声をかけてほしい。
<p>その他 (テーマの背景、 学校の工夫、今後の 取組等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業公開があり、子供たちの様子を実際に2時間見学することができた。 ・「地域連携」をテーマに絞り、参加者全員を指名して意見をいただく形態のミニ集会であった。 ・参加者からは、学校と地域が協力して学校と地域をさらに良くしていこうとの共通の思いを持っていることがよく伝わってきた。 ・今回のミニ集会をきっかけとして、横のネットワークを構築する良い機会となっていた。

- | | |
|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none">・「地域とともに歩む学校づくり」について学校の熱い思いが具現化された素晴らしいミニ集会であった。 |
|--|--|

「学校を核とした県内 1000 か所ミニ集会」実践例

学校名	特別支援学校市川大野高等学園 市川市大野町4-2274 電話047-303-8011
テーマ	本校の教育活動と地域防災について
実施形態 実施主体	全体会、プレ ^{おうすい} 鶯翠祭（行事） 学校と「開かれた学校づくり委員会」が主体となり実施
日時 会場	令和元年11月13日（水）10:00～12:00 特別支援学校市川大野高等学園 図書室
日程 流れ・進行	1 学校参観：プレ鶯翠祭（生徒案内誘導） 10:05～ 2 今年度の教育活動について 10:45～ 3 学習成果発表（生徒から） 4 意見交換 11:25～
参加者	教職員 6名 保護者 9名 地域住民 4名 その他 30名 合計 約49名
広報	・通知文 ・広報紙（学校だより） ・学校のHP ・その他（正門前掲示板）
内容	・生徒の案内・誘導による学校参観（プレ鶯翠祭） ・生徒による学習成果の発表をととした教育活動の説明 ・日頃の教育活動や学校参観、地域防災等について意見交換
参加者の意見	・生徒は、「あいさつ」が当たり前のようになっている。先生方が日々丁寧に支援している成果と思う。 ・地域防災について、地域で協力できることがあれば、ぜひ声をかけてほしい。 ・地域貢献として、陶芸や染織の講座を実施しているが、今後、生徒が教える立場となる取組も検討していただきたい。 ・学校参観では、実習時とは違う生徒の姿を見ることができた。 ・デュアル実習では、いつも生徒が頑張っており、企業も学ぶことが多い。
その他	・地域住民や地元企業の関係者だけでなく、大学関係者（順天堂大学

<p>(テーマの背景、 学校の工夫、今後 の取組等)</p>	<p>の職員、生徒) にミニ集会の参加を募り、様々な立場の方から意見を聞くための工夫をしていた。</p> <ul style="list-style-type: none">・生徒による学校案内や学校説明があり、参加者が学校や生徒を身近に感じる事ができた。・秋の災害を受けて、「防災」に関するテーマも取り入れ、学校・地域で喫緊の課題となっていることを意見交換し、ミニ集会を有効活用していた。
---	--

「学校を核とした県内 1000 か所ミニ集会」実践例

学校名	県立銚子特別支援学校 銚子市三崎町 3-94-1 電話 0479-22-0243
テーマ	本校保護者・職員・地域住民とのオリパラ交流会
実施形態 実施主体	全体会、パラスポーツ&レクリエーションスポーツ体験 学校が主体となり実施
日時 会場	令和元年 11 月 8 日（金） 9：30～12：00 県立銚子特別支援学校 体育館
日程 流れ・進行	1 開会行事・日程説明、グループ分け等 9：30～ 2 実技・講義 9：45～ 【テーマ】「心も体も喜ぶ！楽しくやさしい健康・スポーツ体験」 講師：国際武道大学 教授 中島 一郎 氏 （1）準備運動及び交流プログラム I （2）パラスポーツ&レクリエーションスポーツ体験 （3）交流プログラム II & 整理運動 （4）講師による講評 3 意見交換・質疑応答・感想発表等 11：40～ 4 閉会行事・アンケートの記入等 11：55～
参加者	教職員 18名 保護者 6名 地域住民 22名 合計 46名
広報	・地域回覧 ・広報紙（学校だより） ・学校のHP ・その他（関係者に電話依頼）
内容	・障害者スポーツの理解啓発に向けたパラスポーツ等の体験 ・健康に関する講義
参加者の意見	・初めて出会った方々と楽しく過ごすことができました。 ・ミニ集会に初めて参加しました。地域の方と学校を中心に交流できるのは、とても良いことだと感じました。 ・地域住民との交流とともに、身体を動かすことができ、とても良いミニ集会でした。

	<ul style="list-style-type: none"> ・今後もミニ集会に参加したいと思います。(複数回答) ・ボッチャについて理解が深まったので、是非、パラリンピックを観戦したいと思います。
<p>その他 (テーマの背景、 学校の工夫、今後 の取組等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との連携体制を構築するため、ミニ集会の取組が次年度以降を踏まえて計画的に取り組まれていた。 ・パラリンピック種目の体験をとおして、参加者が学校や特別支援教育への理解を深めるための取組となっていた。 ・様々なスポーツ体験をとおして、参加者同士のつながりを作る貴重な機会となっていた。 ・アンケートを実施し、多くの方々から意見を聞き取る工夫をしていた。